

アラジン通信



第48号

2021. 1. 15

NPO法人 介護者サポートネットワークセンター・アラジン

CONTENTS

- ・2021年の年頭にあたって P1
- ・インフォメーション P2
- クラウドファンディング目標達成
ご寄付のお礼

2021年（令和3年）の年頭にあたって

～介護者支援の歩みを振り返りつつ（VOL3）～

2021年、新たな年が明けた早々の1月7日、コロナの爆発的な感染の猛威により緊急事態宣言下となり、再び人々の生活は否応なく分断される事態となっています。私たちはその脅威的な力におびえ、不安を感じながらも、明るいきざしが見える日を待ち望みながら新しい年の一日一日を少しずつ踏み出しています。

また一方で、日本の福祉政策は、2020年の社会福祉法の改正を受け「誰をも孤立させない！」をスローガンに掲げ、ジャンルを超え「生きづらさ」を抱えた制度のはざまにいる人々を、さまざまな機関が連携を図りながら地域で受けとめ、多様な課題を解決に導いていこう、という社会的包摂と地域共生の実現という理念としくみづくりが日本中に浸透されつつあります。

「ケアラー」の問題は、これまで法律の枠内にはまらず、長い間蚊帳の外におかれてきましたが、このところ、“ケアラー自身の健康や生活や人生そのものの組み立て”が、ケアという文脈を超えて阻まれていく事態が顕在化してきました。その結果、行政が制度や政策としてケアラー支援に正面から取り組まなくてはならない時代がようやくすぐそこまできています。

特にこのコロナ禍においては、ケアラーの精神的負担・ストレスが増え、多くのケアラーが「自分自身が感染隔離や濃厚接触者になった時にどうしたらよいかわからない。」という大きな不安を抱え「緊急時の要介護者へのサービスや受け皿」を必要としています。「いざというときの代わりの介護者が確保できている人」は1割に満たないといった実態が明らかになりました。（日本ケアラー連盟:2020年3月緊急ネットアンケートより）

実はこのことは、平常時でも最も大きな潜在的な課題でした。図らずもコロナの影響により、ケアラーが自分自身の体調に配慮しながら、自分に緊急の事態が起きた時、代わりになる人にすぐ手渡す際に、必要な情報の詰まった「緊急引継ぎシート」（通称：ケアラーのバトン）が開発されました。アラジンではこうした支援ツールを「介護者の会のネットワーク」を通じ、地域で孤立したケアラーに、届けてもらおうと「クラウドファンディング」を媒介とし、多くの支援者とともにケアラー支援運動の拡がりのきっかけを作ることができました。（続きは2ページへ）

2021年はアラジン創立20周年を迎えます。節目の年に向けて新たなページが開けると信じて活動を前へ進めます。

・・・・アラジンの歩み（VOL3）・・・・

前回は、2007年から杉並区内でスタートした「介護者の会の立ち上げ支援」の足跡を書きました。今回は、同年にスタートした娘サロンの経緯について振り返ってみます。

当時は、アラジンを創設してまもなく事務所を置いていた「みなとNPOハウス」から、新宿御苑に引っ越した頃だったかと思います。その事務所に、メールや携帯電話などから（特に昼休みの時間帯に）20代～30代の若い介護者の方から、「私のような世代の介護者はいるのでしょうか。」「他のみなさんはどう過ごされているのでしょうか、知りたい。」という孤立を訴える連絡がポツポツ入るようになっていました。そこで連絡のあった娘さんの介護者3名に声をかけ、喫茶店の片隅に集まっていたいただき、顔合せをしながらお話をうかがうところから、この14年間（～現在まで）に渡る「娘サロン」の実践が始まりました。

（理事長 牧野史子）

～「介護する人を孤立させない」ケアラーと地域をつなぐプロジェクト～
クラウドファンディング目標達成いたしました！！

10月23日から11月30日まで実施したクラウドファンディング。142名の皆さまに1,565,000円のご支援をいただくことができました。皆さまのあたたかいお気持ちに心より感謝申し上げます。

今回はじめて挑戦したクラウドファンディング。

○介護をひとりで抱え孤立するケアラーと地域をつなぎたい。

○介護者を支援する会や団体の存在を知ってほしい。

○ケアラーの存在を知ってほしい。

という想いで挑戦しましたが、私たちのこの想いが届くのか、正直なところ不安な気持ちもありました。そんな気持ちを力に変えてくださったのは、皆さまのあたたかいご支援、応援のメッセージです。

ご支援くださった方には、

◇介護している方、介護を終えた方

◇ケアラーの存在をはじめて知った方

◇自分もケアラーだとはじめて気づいたという方

◇近い将来ケアラーになる自分のためという方

など様々な方がいらっしゃいました。介護の実情をメッセ

ージに寄せてくださった方も多く、そのお一人お一人の思いを受け、改めてケアラー支援の必要性を感じました。

また、このプロジェクトを通してケアラーの存在を知っていただくという願いも僅かであって叶ったのではないかと感じています。

進捗としては、全国の協力団体へ【ケアラーつながりセット】の発送を、昨年末に終わりました。緊急事態宣言の最中とあり、手渡しでお届けすることが難しい状況ですが、協力団体の方々みなさんからは、「地域包括や民生委員の方々へ丁寧に伝えていきます」「ケアラーへお届けするのが楽しみです」といった声をいただいています。

ご支援いただいた方へのリターンについても、準備をはじめ発送を順次行っています。お手元に届くまで、もう少しお待ちください。

お礼と進捗までお伝え申し上げます。

(クラウドファンディングプロジェクト一同)



編集後記：あけましておめでとうございます。強烈な寒波と首都圏での緊急事態宣言で2021年が始まりました。ご自身と大切な人を守るため、みなさまそれぞれに大変な時間を過ごされていることと思います。マスク生活も長くなりました。聞き取りにくい、話しにくい、表情がわからないなど付き合いにくいものですが、1日1回マスクの中で思いっきり笑顔をつくってみてはいかがでしょうか。肩の力が抜けるかもしれませんね。くれぐれもご自愛ください。(M. O)

ご寄付有難う
ございました
(2020.10～
2020.12)
(株) テニテ様
草加市
勝野とわ子様

発行：NPO法人介護者サポートネットワークセンター・アラジン 発行者：牧野史子

事務所：〒160-0022 新宿区新宿1-18-10 橋場コーポ302号

TEL 03-5368-1955 FAX 03-5368-1956

E-mail arajin2001@arajin-care.net URL http://arajin-care.net/